



吉川友子後援会報

2021(令和3)年3月

あなたとわたし 友&愛

No 33

発行：吉川友子後援会
幹事長 田村至
会計 高塚紀之

会長 上野昭久
事務局長 横山晴子
広報 滝澤さや香



台風19号災害と用水問題を現地で話し合う(協和谷田地区)



気候危機についての勉強会(桜ヶ丘ふれあいセンター)

コロナ禍で過ごす日々が一年以上続きます。ワクチン接種が始まりましたが、この先の見通しはまだはっきりしません。ご苦勞も多いことと思います。

私の議員活動は、2期目が終わる時期を迎えました。この間、みなさまの多大なご指導とご支援をいただきました。本当にありがたく、心から御礼申し上げます。みなさまのおかげで、子どもたちを取り巻く環境や、地域のさまざまな課題に取り組むことができました。

今、佐久市では、佐久平駅周辺の人口増と、周辺部の人口減少、空き家の増加、遊休農地の増加などの課題があります。里山が荒れて、鹿や猿が農作物を荒らすという困難もあります。商工業の発展、医療福祉の充実、子育てしやすい地域づくりなど、自然を生かして、本当の意味での豊かさを取り戻す大きな計画が必要な時期を迎えています。

佐久市に住むすべての人々の安心と安全を願って、私も3期目をめざし、一層努力する所存です。さらなるご指導ご支援を、よろしくお願いたします。

令和三(二〇二一)年三月

吉川友子



りんご農家と今後の果実生産についてりんご園で話し合う



ホームページなどはこちらから。

街頭演説の予定

期間中、街頭で演説をさせていただきます。時間があれば、聴いていただけたらうれしいです。

- | | | |
|----------------------|----------------|----------|
| 4月4日(日) | 4月5日(月) | 春日地区各所 |
| 9:00 片倉公民館 | | |
| 9:40 旧天神公民館付近 | 4月6日(火) | 本牧地区各所 |
| 10:00 比田井公民館付近 | | |
| 10:30 高呂公民館付近 | 4月7日(水) | 布施地区各所 |
| 11:00 えちごや付近 | | |
| 11:30 望月バスターミナル付近 | 4月8~10日 | 旧望月町及び町外 |
| 13:00 御鹿の里ふれあいセンター付近 | | |
| 13:30 JA 布施支所付近 | | |
| 14:00 大谷地公民館付近 | | |
| 14:30 協西公民館付近 | | |
| 15:00 合の沢 | | |
| 15:30 小平公民館付近 | | |
| 16:00 三井公民館付近 | | |
| 16:30 えちごや付近 | | |

2日目以降は細かい日程はまだ決まらないので、地区だけ記します。詳しくはホームページ、フェイスブック、又は電話などでお問い合わせください。



遊説カーについて

4月に行われる市議会議員選挙において立候補の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として私は遊説カーを自粛することにいたしました。
なにとぞ、ご理解のほどよろしくお願いたします。



地域猫や犬を大切に活動に参加。この活動で昨年度、佐久保健所での譲渡可能な犬猫の殺処分はゼロになった。

第一回定例議会が2月16日から3月19日まで開催され、吉川議員は一般質問に登壇しました。

公共施設や住宅の屋根で太陽光を

(吉川) 地域振興には資産の地域内循環が大切です。その中で重要なポイントとして1つは一人勝ちを許さず、数多くの人々に資金が行き渡ること、もう1つは資金の外部流出を防ぐことです。

まずエネルギーの自給について質問します。住宅の屋根や公共施設での太陽光発電の普及状況と今後の推進に向けた取り組みについてお聞きします。

(環境部長) 市では太陽光発電による再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでいます。平成20年度から令和3年1月末までの約13年間の交付件数は約4100件です。そのうち約300件が住宅への設置です。次に市の公共施設への設置状況ですが、学校や保育所等に設置してきました。近年では、浅間会館、岩村田小学校、ヘルシーテラス佐久南へ設置するなど令和元年度末現在設置した施設は、27施設です。また本年度、浅科支所複合施設に設置します。今後は、太陽光発電設備設置補助金の拡充を予定しています。また、発電した電気を夜間でも使用できる蓄電システムにも

補助を拡大していきます。

(吉川) しかし一方で、太陽光パネルの立て乱立や合意の得られない地域での設置はこれ以上増えないような施策も必要です。特に森林を伐採して設置するのは、二酸化炭素排出の削減になるかどうか、検証も必要です。森林保全や景観を考慮しながら、住宅の屋根や公共施設の屋根などを中心に太陽光発電を推進し、蓄電池の普及や節電も重要です。持続可能な社会を目指し、より環境にやさしい暮らし方を推進していただきたいと思います。

食糧の地産地消がより大切な時代に

(吉川) 持続可能な社会を構築する上で食料の自給率を上げていくことがとくに重要な時代を迎えました。今日本の食料自給率は38%ですが、災害やコロナのような世界的パンデミックを考えると、自分たちの食糧を自分たちで作るということは非常に大切になってきます。地域内で育てたおいしい食糧を地域内で消費すること、食育の面でも意味がありますし、栄養価を考えても重要です。輸送の際に排出される二酸化炭素を減らすためにできるだけ近い場所で消費するのが理想的だと言えます。佐久市では、市内で生産された農産物が都市へ出荷されていますが、その反面地元のスー

パーなどで県外の野菜も多く並んでいます。持続可能な社会を目指すために、地産地消をさらに推進し、最大限自給率を上げていくことが重要だと考えますが、市としての考え方を伺います。

佐久市産農産物を広く周知するための農業祭等の開催や子どもたちに地元農産物の理解を深めてもらうための学校給食への応援による地元食材の供給、地元の食材を扱う直売所、飲食店、旅館等の地産地消推進の店としての認定とガイドマップによる情報発信など多様な取り組みを展開しています。

が同年4月以降に新築等の契約をした場合はこの補助金の対象外となってしまふこととなります。今後においては補助金の制度の公平性を考慮し、制度を継続する場合についてはこのような事案が発生しないよう運営していきたいと考えています。

(吉川) 先日政府は、2050年までに農地の25%を有機農業にするという目標を発表しました。また、種苗法改正は大きな問題ですが、地域に根付いた在来種の保存や継承のバックアップが必要で、地域の農業を守り続けていく支援策を拡充していただきたいと思います。

すことのできない移住希望者の住宅ニーズに対応することができれば、現在登録数が減少している空き家物件の掘り起こしを図るねらいもあります。空き家バンクの新規登録物件数は令和元年度で34件とピーク時の約半数となっています。お住まいオーダーは2月22日現在、20件のオーダーと13件の情報提供があり、そのうち1件が成立しました。

(吉川) 先日政府は、2050年までに農地の25%を有機農業にするという目標を発表しました。また、種苗法改正は大きな問題ですが、地域に根付いた在来種の保存や継承のバックアップが必要で、地域の農業を守り続けていく支援策を拡充していただきたいと思います。

「お住まいオーダー」の利用状況は (吉川) 今年の1月から始まったばかりの「お住まいオーダー」というサービスですが、家や土地をお探しの方々と物件をマッチするサービスということで、移住したいけど物件がない、という悩みを最近よく聞いていたので、そういった課題の解決につながるのではないかと期待しています。まだ始まったばかりなので、どのような事業なのか、またその利用状況についてお聞きします。

移住促進住宅取得費等補助金の問題点

(吉川) 災害や新型コロナウイルスの影響を経験して、密集している都会から地方への移住を希望する人も増えています。今後移住しやすくなるような環境をどう整えていくのか、制度設計について質問します。

リモート市役所始める (吉川) 私も登録して覗いてみました。佐久市民の他にも移住希望者や関係人口として佐久市に関心をお持ちの方など多くの方が登録して、佐久市の様々な分野について語られているのを興味深く拝見いたしました。これは新しい事業なので、事業の目的や内容、今後の展開についてお聞きします。

佐久市に移住してこられる方の中には、佐久市の補助金制度を期待してこられる方もいます。ところが、この住宅取得費等補助金、現在の対象者は令和2年4月1日以降に転入してきた人が対象となっています。しかし仕事や学校などのことを考え、3月に引越し、同時に住民票を移して、しばらく賃貸物件に住んだのちに、家を建てた、または購入した場合、この補助金の対象から外れてしまったのです。個人的にも相談がありましたし、市役所にも同じようなご相談があると聞きました。もう少し柔軟な対応が必要ではないでしょうか。

(企画部長) 本事業は本年1月から開始しました移住希望者向けのお住まい探しのサービスです。移住希望者等の住宅ニーズと不動産会社等が持つ情報のマッチングを図るものです。今まで行ってきました「空き家バンク」における情報提供は空き家情報を取得し、その情報を開示するのみでしたが、「お住まいオーダー」は、移住希望者がこういった物件を探しています、というオーダーに対して、これに合った住宅情報を不動産会社等からその都度提案してもらつものとなります。また、空き家バンクが戸建てのみを対象としたものであることに対して、お住まいオーダーでは集合住宅や土地といったすべての不動産情報を取り扱っていること、長野県宅地建物取引業協会佐久支部佐久平地区の会員以外の不動産会社が持つ情報も取り扱うこと、などの違いがあります。

あるいは市職員がその質問に対してお答えするものです。本年1月25日に一般公開して運用を開始しましたが、2月末時点で当初参加者数の目標と設定していましたが100名を大きく超える700名超のみなさまにご参加いただいています。



後援会事務所での役員会で 2021.3

(経済部長) 現在、

この事業は従来の空き家バンクでは満た

ます。

ます。